



いいで町

201号

議会だより

町民に安心を 鳥獣被害に備える



西おきたま猟友会飯豊分会の皆さん

表紙の説明は次ページにあります

3月定例議会



携帯・スマホからアクセス!

施政方針 町民ニーズを政策に反映へ	P 2
総括質疑 事業検証シートの効果は	P 3
令和8年3月定例会	P 4, 5
令和8年度予算特別委員会	P 6, 7, 8, 9
特集 公聴活動及び活動報告	P 17, 18, 19
町民からのメッセージ	P 20

施政方針

町民の声に耳を傾け ニーズを政策に反映させる

施政方針概要

令和8年度は、第5次総合計画の始まりの年であり、新たな一歩を踏み出す最良の年と捉え、行動力と情熱を持って挑戦する1年としたい。

1. 町民の声にしっかりと耳を傾け、ニーズをくみ取り、政策に反映させる。

2. 課題に対して、即座に対応できるほど財政は決して豊かではない。町の未来は選択と集中であり、優先順位を付けて対応していく。



飯豊町長

あらし
まさ
と

予算編成方針

財政健全化を図る観点から、既存事業について事務事業検証シートを基に、事業の効果、必要性、内容などを総点検し、無駄の排除や事業の見直し・再構築に努めた。

厳しい財政状況においても、歳出はきめ細やかな精査と最適な配分、歳入は国庫支出金をはじめとする交付金や補助金の活用を拡大し、飛躍と成長の基盤を築くための施策を展開していく。

令和8年度予算における第5次総合計画重点事業

●人をはぐくむまち

- まちづくり事業 13,348千円
- 学校・家庭・地域の連携協働推進事業 5,984千円
- 子ども食堂から始まる地域のウェルビーイング実現事業 1,590千円

●世代をつなぐまち

- 子ども家庭センター事業 9,156千円
- 除雪支援事業 11,913千円
- 老人福祉費 207,148千円

●縁をつむぐまち

- どんでん平ゆり公園管理運営 32,598千円
- 白川ダム湖岸公園渋滞対策 2,000千円
- 移住定住促進事業 6,088千円

●郷土をたがやすまち

- 地球温暖化防止事業 638,145千円
- 道路維持事業 265,420千円
- 災害対策事業 10,002千円
- 除雪事業 449,195千円

●可能性をひらくまち

- ふるさと納税事業 151,571千円
- 持続可能な森林づくり事業 15,616千円
- 工業振興事業 9,619千円
- アンテナショップ運営事業 7,540千円

表紙の説明

猟友会の活動

春の有害鳥獣（うさぎ）駆除に備えて集合された猟友会の皆さんです。役員3名の方に平日頃の活動、体験談、町への要望等をお聞きしました。（20ページに掲載）

事業検証シートの 仕組みとその結果は



総括質疑

高橋 勝

3月定例会には、翌年度の施政方針と予算案が提案され、それを受け議会は予算特別委員会で審査します。その際に、議会の代表者が予算委員会審査前の本会議において、施政方針と予算案に対して、根本的な考え方を確認する『総括質疑』を行います。

〔予算編成方針〕

検証シートの効果は

質問 既存事業は事務事業検証シートを基に、精査されている。検証の仕組みと検証結果は。
町長 200を超える既存事業の中から、単独事業費が多い60事業を選定し、財政担当が内容を確認している。8年度予算において、前年度比2千95万8千円の減額となった。

地域未来交付金とは

質問 今年度「地域未来交付金」という新たな国からの交付金がある。どのような事業に使われるのか。
町長 地場産業の付加価値向上など、地域独自の取り組みを支援する交付金となっております。本町では、観光産業施設の強化や水没林受入体制整備に係る渋滞対策、白川荘の設備改善など、9事業の財源と

している。

当初予算が否決され、交付金は歳入から削除

〔主要施策〕

●人をはぐくむまち

質問 検証中の地区別計画。今後の進め方は。
町長 まちづくりセンター主事を中心に、地区協議会等と意見交換の場を定期的に設けていきたい。加えてまちづくり委員の意見を反映しながら、自走する地域づくりの枠組みを構築していきたい。

●世代をつなぐまち

質問 中学校部活動の地域移行に伴う町の支援策は。
町長 保護者及び指導者に年間計画の作成を依頼し、運営経費の一部を補助金として交付。またスクールバスの運行要件を緩和する。

●郷土をたがやすまち

質問 個別避難計画の策定について、進め方は。
町長 健康福祉課で避難行動要支援者名簿の更新を進め、総務課において、各地区で出前講座を行い、計画作成を展開していく。

●可能性をひらくまち

質問 ①高温少雨に対応する農業用水確保策と②鳥獣被害対策は。
町長 ①県や土地改良区と連携して対策を検討し、国県の事業を活用しながら、整備の可能性を探りたい。②県は被害低減に取り組むための専門職員で構成する中間支援組織の設立を準備中であり、町では、イノシシ対策で電気柵導入と、サル用の囲いワナ導入の支援を予定している。

●縁をつむぐまち

質問 ゆり園の運営が、三セクから町直営となるが、今後の体制は。
町長 業務委託とし、受託事業者間の調整は、

検証中の地区別計画



年間を通じた利活用でにぎわいを

商工観光課が園全体の管理運営を行っていく。

3月定例会 3月臨時会

(豊川、萩生、豊原財産区会計除き)

新年度当初予算否決

それを受けて3月23日に臨時会を開催し新年度予算は可決成立した

一般会計総額
79億9252万円

3月定例会の概要

3月定例会が、3月3日から13日まで11日間の会期で開催された。第1、2日目、6名の議員による一般質問を行った。(詳細は10ページ以降) 第3日目、条例の設定・制定が14件、各会計補正予算12件、その他過疎計画の策定等3件を可決。新年度各会計予算13件は予算特別委員会に付託。その他施政方針に対する総括質疑が行われた。第4日目を以降、各常任委員会、予算特別委員会を開催し、最終日に予算特別委員会の報告を受け、3財産区会計を除き賛成4反対5で否決。そのほか第三セクター調査特別委員会の設置を含む8案件が提案され、可決承認された。

新年度予算審査の経過と結果

町から当初示された令和8年度一般会計予算案は、歳入歳出総額は81億3200万円であったが、この中に、国庫支出金である地域未来交付金を活用し、ホテルフォレストいいで再生に向けた建物設計委託料7,686万円が計上されていたが、予算特別委員会及び本会議において、この事業に対して賛成・反対の双方の立場から議員間において質疑や討論で活発な意見が交わされた。

予算審査特別委員会では新年度予算に対し、賛成3反対5で「否決すべきもの」と決定した。そのことを受け、最終日の本会議においても、一般会計予算案及び特別会計予算案について、賛成4反対5で否決となった。

その結果、フォレストいいで改修を主とした財源が同交付金であったため、同交付金で予定していた観光産業施設の強化や水没林受け入れ体制整備、白川荘の設備修繕など9事業が執行できないこととなった。

(各議員の討論内容はP8をご覧ください)

新年度予算否決 その理由

フォレストいいで改修計画に対して、8ページに各議員の賛成意見・反対意見が掲載されているが、事業を認めるには懸念される事項も多く、結果的に否決となったその内容について、議会の責任として一部ですが先に列記します。

・令和元年フォレストいいでの閉館理由は「利用者の減少」であったが、現在はさらなる「人口減少」「観光客の伸び悩み」がある。宿泊者を1泊3〜5万円の富裕層としているが「需要者数の根拠が不明確」「町民の利用見込まれない施設への町費投入の必要性」「宿泊率40%の実現性の根拠」「経営不振となった場合のリスク」「その対処方法」「白川荘の改修が優先すべき課題」等であった。

令和8年度重要事業点事業

令和8年度の重要事業は、脱炭素先行地域に選定されたことによる「バイオガス発電事業」、高効率エアコンや電気給湯器（エコキュート）、住宅の断熱改修費などの「省エネ設備事業」、「太陽光発電設備事業」などの地球温暖化防止事業総額6億3814万円が主なもの。その他、令和4年、6年の災害復旧費用3億9942万円。公債費（借入金の返済）はこれまでの大型事業の元金償還が始まったことから5・2%増の13億1421万円となっている。



3月定例会で決定された 主な条例など

- ・飯豊町義務教育学校整備基金条例の設定
- ・飯豊町長寿祝い金支給条例の設定
(100歳祝金 10万円から20万円に)
- ・飯豊町水道給水条例の一部を改正する条例の制定、(料金改定) (下水道関連条例も一部改正)
- ・令和7年度各会計補正予算
- ・飯豊町過疎地域持続的発展計画の策定
- ・第6次飯豊町行財政改革大綱の策定

2月4日にも臨時会があり 可決成立しています。

内容▷一般会計補正予算	歳出の増額
衆議院選挙費	950万円
めざましの里応援寄付基金	4,000万円
ふるさと納税運営費	4,000万円
除排雪経費 外	8,000万円

3月23日臨時議会の内容

フォレストいいで改修設計費等を除く

3月定例会において新年度当初予算10会計を否決したため、臨時議会が開催され、新たに提案された予算案について審議した。再度提出された一般会計歳入では、国庫支出金である地域未来交付金を削減し、基金繰入金を増額。歳出では、地域未来交付金を財源としていたホテルフォレストいいでの改修設計費、白川荘修繕費、しらすぎ荘修繕費、白川湖岸公園渋滞対策費等を減額し、歳入歳出総額79億9252万円となった。他特別・事業会計は一般会計からの繰出し金や繰り入れ金が精査され、この修正案を賛成7反対2（遠藤芳・島貫）で可決した。

脱炭素事業

総務文教
所管分



予算特別委員長

菅野 富士雄
かんのふじお

令和8年度一般会計、各特別会計及び事業会計合わせて13件について、予算特別委員会を設置し審査を行った。
委員長に菅野富士雄委員、副委員長に高橋亨一委員を選任し、3月10、11日の2日間を費やして慎重かつ活発な審査を行った。
『フォレストいいで』に関する予算案が検討すべきものとして関係する予算案はすべて否決された。

現在、総務文教所管分の懸案事項は5ページでも触れられている『脱炭素先行地域事業』である。概要は下に掲載した住民説明会資料のとおりである。この事業に対しては議会として賛成はしたがその後、説明とは大きな隔たりがあることが分かり、計画どおりの進捗を望む。

予算書では町の持ち出しがあるがまずは用地を確保すべきでは

質問 松山・遠藤(芳)委員

国からの補助金で足りない額を一般財源で補っている予算書であるが、これでも町からの支出は無いと言えるのか。

場所も決まらないうちに工事費その他が決まってしまうというのは本来は逆ではないのか。
住民課長 差額については、ほかの事業費(土木事業費)(調査管理費)に充当している。
場用地は今後住民との話しあいでの話しか決まらなくことになる。

1 事業計画名及び期間について

計画事業名 米沢×飯豊発 米沢牛と地域連携で挑む肉用牛バイオガス発電モデル2.0による脱炭素への道
事業計画の期間 開始年度: 令和7年度 終了年度: 令和12年度

2 事業費について

① 地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画(脱炭素先行地域づくり事業)

	事業費(円)	交付対象事業費(円)	交付金限度額(円)
米沢市	3,353,621,960	3,313,621,960	2,242,356,000
飯豊町	1,305,820,000	1,211,818,000	813,377,000

② 特定地域脱炭素移行加速化事業計画(民間裨益型自営線マイクログリッド等事業)

	事業費(円)	交付対象事業費(円)	交付金限度額(円)
飯豊町	3,859,500,000	2,669,500,000	2,014,500,000

③ 総事業費 ※米沢市バイオガス(FIT)37億円含む

	事業費(円)	交付対象事業費(円)	交付金限度額(円)
合計	12,218,941,960	7,194,939,960	5,070,233,000

米沢・飯豊キックオフミーティング資料

脱炭素先行地域事業の全体像
(住民説明会の資料より)

予算特別 委員会

大丈夫か

これから募集する
地域おこし協力隊
とは

質問 高橋(勝)委員

企画課と住民課で募集する地域おこし協力隊の業務内容は。

まちづくり室長 スキル型(知識・能力)の人材を採用し、映像タリエータを予定している。業務は町のプロモーションビデオ作成などとしており、ユーチューバーのような人材ではない。

住民課長 現在取り組んでいる脱炭素事業からのこだわりの農産物の商品開発をはじめ、栽培から販路開拓の業務を予定している。

ウエルビーイング
事業始まる

質問 横山委員

子供食堂から始まる地域のウエルビーイング事業、1590千円の内容は。

まちづくり室長 その地区ならではの食材を使ったり、その時の行事に沿った献立を考える。昨年は8月からの開催で5か所のまちづくりセンターで41回800名の参加があった。

8年度は毎月1回、5か所でのべ計60回の開催で1200名の参加者を見込む。

ウエルビーイングとは、**身体的・精神的・社会的に満たされた良い状態で生きていくこと**

質問 舟山委員

日本で一番美しい村連合に加盟することによって、町の発展はどうなったか。

企画課長 景観、食、伝統文化、地域の遺産を残すことの取り組みをしている団体が集まっている1万人弱の地域町村が集まる組織であり、毎回東北ブロック総会に参加して、いろいろな取り組みを参考にしている。



飯豊町
講演社「日本で最も美しい村」に掲載されている



なかなか進展しない米坂線復旧事業は

質問 島貫委員

米坂線の復旧を樫駅までの可能性で考えてみてはどうか。



現在の羽前樫駅

企画課長 JR東日本からは信号機の違いがあり、困難だという回答があった。その後は進んでいない。復旧の方法や程度を確認して進めたい。

質問 遠藤(純)委員

地域未来交付金824万円はどのような交付金か。

総務課長 地方創生事業から継続する町づくりに関わる事業に使用できる交付金で、今年は関係人口を増やす交流事業など商工観光事業に充当する予定である。



駐車場から見た白川荘
4月当初でも観光客が目立つ

主にフォレストいいで改修に対して賛否が分かれた 討 論

討論「ホテルフォレストいいで改修」その必要性の是非

1年前まで、「建物は民間に無償譲渡する」予定で進んできたホテルフォレストいいで。

しかし、新年度に国の交付金を使って「町が改修する」として建物の設計予算7,686万円が上程された。以前から「町は改修する意思はなく現状で無償譲渡する」としていたものであったため、町が再生することの必要性に対し議員の意見は別れた。

フォレストが再開することで「交流人口の増加」「インバウンドの宿泊先となる」「地元農産物の利用促進」等、事業を推進すべきとの討論があった。反対討論として、「議会に対して説明が不十分」「同じ場所に町の施設が2つ必要か」「3～5万円の富裕層のホテルを町がつくる必要があるか」「フォレストは宿泊者減少により閉鎖した施設」「冬期間、交通アクセス等多くのリスク検証が不十分」そして「交流・関係人口からも老朽化している白川荘の改修を優先すべきではないか」など、様々な議論が交わされた結果、採決では賛成4、反対5で予算案は否決された。

賛成討論

観光振興に果たす役割に期待 その他の事業にも影響を及ぼす

横山清彦議員

- ・現在、中津川の水没林は日本や世界で注目を集めている。関係人口を増やすチャンスである。

遠藤純雄議員

- ・事業の目的、関係人口創出以外のメリットや、総事業費や償還額の詳細などの疑問点はあるが、その他事業に支障をきたすことや地元中津川からの事業推進への強い要望がある

高橋勝議員

- ・インバウンドを含む観光客の滞在時間が短く、経済効果が限定的である町の課題が改善できる。
- ・総事業費10.6億円とあるが、交付金等もあり町支出は1.6億円であり、使用料で全額返還と説明を受けている。
- ・地域未来交付金は白川荘改修や白川湖岸公園住宅対策費等の財源となっている。
- ・現在のところ白川荘改修費（試算）10億円の補助事業もなく、先に改修してどの程度客数が戻るか検証もされていない。
- ・町はリスク管理は協定書で、進捗状況は議会へ報告すると答弁している。

反対討論

立地や高額ホテルのリスクを懸念 白川荘改修を最優先すべき

遠藤芳昭議員

- ・町民の使用が見込まれない宿泊費3～5万円の富裕層対象の施設を町が作るべきでない。
- ・40%という稼働率、観光客数の減少、交通アクセスの悪さ、冬の集客のリスクが検証されていない。
- ・白川荘と共倒れになる懸念がある。同じ地域に2つの施設は必要か。白川荘の改修を最優先にすべき。
- ・白川荘は中津川観光の中心で地域を支える施設、老朽化した白川荘改修こそ最も有効な町の活性化策。

松山和好議員

- ・町から提示された事業計画の根拠に疑問が残る。
- ・全国的に展開されているリゾートホテルはあるが、期待できる効果を感じない。
- ・失敗したときのリスクは全て町にくるのでは。

舟山政男議員

- ・町のリスクが大きく、説明が不十分。
- ・国の交付金を活用しなくても、基金取り崩すなどして、まずは白川荘改修を優先にすべき。

高橋亨一議員

- ・フォレストが閉鎖した経緯の検証が不十分
- ・第三セクター全体の改善を優先すべき。

島貫寿雄議員

- ・フォレストの閉鎖した理由や原因をしっかりと検証し、運営していけるか慎重に議論すべき。
- ・失敗するリスクについて考えるべき。

予算特別委員会 産業厚生所管分

一般会計

福祉関係

質問 除雪支援事業
備品購入は何か

遠藤(芳)委員

健康福祉課長

15馬力程度の歩行型
除雪機購入費。

農林水産業関係

質問 「熊」「イノシシ」など鳥獣害被害
対策は

遠藤(純)委員

農林振興課長

一人5000円で2
600名を想定してい
る。

特別会計、 事業会計

質問 アンテナシヨ
ップを利用してのふ
るさと納税はあるか

舟山委員

商工観光課長

明確な数は把握して
いないが、様々な交流
やめざみの里祭りにお
ける阿波踊りに参加さ
れた方々から寄付があ
ったとの連絡を受けて
いる。

美の里事務長

入所者が減少し稼働
率84・9%となってい
る。常に20人前後の入
所者であり、入所して
も、特老へ移動するな
ど入所期間が短い傾向
がある。また介護度が
低い入所者が多い。



過年度購入した除雪機

一般会計

質問 高齢者物価高
騰対策商品券配布事
業の内容は対象人数
と一人当たりの金額

高橋(勝)委員

健康福祉課長

商工観光関係

質問 プレミアム商
品券発行事業減額理
由は

島貫委員

商工観光課長

物価高騰対策事業を
実施したため、予算は
1回分のもの。

地域整備関係

質問 老朽危険空家
解体補助金400万
円は何件分見込んだ
予算か

高橋(亨)委員

地域整備課長

解体補助金は半額補
助か上限100万円い
ずれ低いほうで、4軒
分を見込んでいます。

地域整備課長

未加入率は約10%。

舟山委員



氏名	質問事項	ページ
1. 議席番号4番 たかはし まさる 高橋 勝 議員	①専門職大学「飯豊キャンパス」の今後は ②宿泊者確保と特産品での経済対策を提案	P11 上
2. 議席番号3番 えんどう すみお 遠藤 純雄 議員	①生成AIを用いた行政事務の簡素化と、義務教育学校における生成AI教育および活用について ②飯豊町が直面している複合的な危機と、その対応の方向性について	P11 下
3. 議席番号6番 まつやま かずよし 松山 和好 議員	①町が中津川バイオマス(株)の設立を支援、後押しした時の考え方は	P12 上
4. 議席番号7番 えんどう よしあき 遠藤 芳昭 議員	①ふるさと納税事務取扱に関する事項 ②白川荘の再整備を最優先とすべきではないか	P12 下
5. 議席番号8番 たかはし きょういち 高橋 亨一 議員	①「稼げる農業」「安定価格の農業経営」を目指す農業の実現について	P13 上
6. 議席番号2番 しまぬき ひさお 島貫 寿雄 議員	①町長選挙での公約、約束後、期待度に対する自身の達成度 ②人口減少の具体的な対策は ③未来戦略課の創設と課長立候補制の導入を ④ふるさと納税の他に歳入を増やす努力を	P13 下

*記載している文章は抜粋したものです。
また、質問した議員が自らの責任で執筆しています。

録画中継を見る
ことができます



知れば得する議会の基本

「一般質問について」

一般質問は定例会の本会議において、議員が執行機関(町長や教育長)に対して、行政全般(公共事務、行政事務の一切を含む)について質問を行うことです。一般質問では、執行官の所見や施策について報告を求めたり問いただすこともあります。

専門職大学 「飯豊キャンパス」の今後は

町長
大学の自立と自走を
見守る方針

キャンパスの今後は

質問 専門職大学の再スタートが表明されたが、飯豊キャンパスと町との関わりは。

町長 電池バレー構想において町が誘致したものの、いち私立大学であり自立と自走を見守っていく方針である。

再質問 町は開学のために整備費用と土地の無償貸与の支援を行っている。次期承継者との契約締結の予定は。

町長 整備費用は今ままで通りに、次期承継者に引き継ぎたいと考えており、土地の無償貸

与も、確認を求められている。



町内経済対策を提案

提案① インバウンドを含む旅行者を、宿泊客として確保することを提案するが、障壁があるとするれば何か。

町長 インバウンドを含む富裕層の旅行ニーズに応える、高付加価値



たかはし まさる
高橋 勝 議員

値な宿泊施設の不足にあると考える。そこで

フォレストいいでを再生し、町内全域に経済効果を波及させたい。

提案② 特産のヤマメ養殖小屋が大雪で倒壊し、事業者は再建を断念。町は支援の考えは。

町長 再建には高額な費用が発生することから、現時点での倒壊建屋の建築は困難と考えている。

再質問 地域には再建を望む声がある。地域との話し合いの場を。

町長 提案にあったとおり、話し合いの場を設けたい。

「生成AIの活用」 「町の複合的な危機」対策

町長
AIは段階的に活用

生成AIによる事務の簡素化と義務教育における活用は

質問 国では生成AIの活用が進められている。本町では行政事務での活用はどのようになっているか。また義務教育における取り組みはどのように進められているか。

町長 主に会議の議事録作成に使用しており、今後段階的な導入を考えている。ただ、利便性だけでなくネット上には誤情報もあるため慎重に活用していく必要がある。



えんどう すみお
遠藤 純雄 議員

教育長 文部科学省ガイドラインに沿い、情報活用能力に留意しながら進めている。今年度は手ノ子小6年生がAIアプリを使い推敲学習を行った。教職員においても理解を高める研修を実施していく。

本町が直面している複合的な危機への対策は

質問 少子高齢化、農林水産業の衰退、頻発する自然災害など本町において直面する課題は複雑化している。集落・インフラ維持の対応は成されているか。

町長 人口減少の中、限られた人で地域コミュニティを維持していくことになる。農業では、規模拡大によるスマート農業だけでなく中山間地では維持活動も重視し、専業農家、半農半X、など多様な農業者で地域維持を行い、林業についても荒廃しない対策を行い森林の有する多面的機能が発揮できるよう管理する。洪水対策については、西山及び住宅密集しているエリアの排水を置賜白川に直接排水できるように県と協議を行う。

町が中津川バイオマス(株)の設立を 支援・後押しする時の考え方は

町長

新たな雇用創出、
循環型社会をめざす

計画を吟味したのか

質問 これまで町が主導して立地を進めた事業は数あれど、予想した結果になっていない。そもそもどこに事業の成功の可能性を見出して事業の実施に至ったのか伺いたい。

町長 先人達の「挑戦なくして成功なし」という格言のとおり、失敗は成功への過程と考えて賛否両論を受け入れながら暮らし満足度ナンバーワンを目指してきた。地区の森林資源の有効利用、新たな雇用創出、循環型社会をめざしている。



事業停止した中津川バイオマス(株)

視察は生かされたか

質問 この事業の案件が出る前に、飯豊町議会として寒河江市内のペレット工場と、新潟県内のペレット工場へ視察研修に行った。そ



まつやま かずよし
松山 和好 議員

これらの事業所では、どちらも原料については、夕夕どころか、お金をいただいて引き受けているというのが実態である。一方で中津川バイオマス(株)の方といえば山に行つて木を切つてくるというものであり、結果は明らかである。このことから私は、事業所の代表者に同情すら覚える。

町として今回の事業停止の原因はどこにあると考えるか。

町長 運転資金の確保が難しかったという事と、販路の確立が出来なかったことにあると考える。

ふるさと納税米返礼品発送ミス問題 まずは白川荘改修を優先すべき

町長

再発防止に体制と方法見直す
フォレストいいで再生を主眼で

ふるさと納税コメ

町の管理責任問う

質問 11月に「町のふるさと納税コメ返礼品中身熊本産千九百件、委託業者誤る」と報道された。一連の経過と対応のうち、①町の管理監督責任 ②業者との随意契約 ③処分の内容 ④再発防止策等について聞きたい。

町 確認体制に不備

町長 ①返礼品の現物確認をしなかった。②役場内に業者の事務所を置いた。③受託者の処分は契約終了後 ④返礼品現物確認を徹底する。

今後の業務は

質問 安全と信頼が優先される。九州まで米を運び、精米して発送している。合理的ではない。九州の業者に委託を続けるのか。

町長 次年度も中間事業者(コンサル)を入れたいが、返礼品は地元から発送したい。

中間事業者は入れる

町長 白川荘とは違い、富裕層を対象として高付加価値を生む。町の食や魅力を発信する巨大な展示場(ショーケース)となる。

高付加価値を生む

質問 中津川フォレストの再生事業で10億以上をかける計画だが①町の施設が同場所に2



えんどう よしあき
遠藤 芳昭 議員

つ必要か。②3〜5万の高単価の宿泊所を町がつくる必要があるか。③白川荘と共倒れにならないか。④緊縮財政で白川荘の改修ができるのか、との懸念がある。まずは温泉・宿泊・食堂・宴会・売店等を充実させ中津川観光の核である白川荘の改修整備を優先すべきではないか。

高付加価値を生む

町長 白川荘とは違い、富裕層を対象として高付加価値を生む。町の食や魅力を発信する巨大な展示場(ショーケース)となる。

稼げる農業、安定価格の経営を 中山間条件不利地の農業は

町長

効率化とスマート化で

稼げる農業実現を

質問 7年産米の価格高と米離れがおき、売れ行きが悪化で在庫の増になっている。

農家の離農が進んでいる今、令和8年度産の「稼げる農業」安定した農業経営の実現」策について聞きたい。

効率化とスマート化

町長 労働時間の削減、高生産性の技術導入やICT技術の活用で、経営の効率化とスマート化が重要。

価格の安定した農業



たかはし きょういち
高橋 亨 議員

経営については、水稻経営の多角化や、収入

減少影響緩和対策交付金（ナラシ対策）、収入保険制度等の収入減少補填制度に取り組み

条件不利地の農業 振興は

質問 過疎化により耕作放棄農地も進む中山間の条件不利地の農業をどう支えていくのか。

集落の共同活動支援

町長 中山間地域等直接支払い制度や多面的機能直接支払制度等の公的制度が執行され、

集落の共同活動を支援する。

農業活動支援を継続し、離農や荒廃防止を支援する。



雪解け前の耕作放棄地

町長選挙公約に対する 達成度は

町長

公約は着実に進めている

町長選挙時の公約に対する自身の達成度は

質問 公約の「義務教育学校名」再検討の町長の考えは。

町長 学校の名前については、しっかりと町民の声を聞き、必要と判断した時は私の権限を発揮し対応したい。議会の決議も尊重しての今回の意見募集である。私は遣る気なくだからだしている訳ではない。

人口減少の具体的な対策は

質問 人口減に対する町独自の打つ手とは。
町長 人口は2050年には3500人と予想される。人口減少を前提に



しまぬき ひさお
島貫 寿雄 議員

関係人口の拡大、生活の質を高め「元気な地域」の維持のため、将来人口に合わせた地域のあり方、インフラや公共施設維持管理を考える。

未来戦略課の創設と課長立候補制の導入を

質問 未来戦略の視点に立ち「フォレストいいで再生」を含む現世代が決める政策の見直し、役場内の大胆な人事改革を。
町長 将来世代の視点の取入れは重要。現世代のみの意思決定では将来世代に過度な負担を残す恐れがある。長期的視点に立った政策判断をしたい。人事改革も不可欠。若手職員のパフォーマンスの向上、高い意欲を持ち

働ける役場を目指す。

再質問 フォレストいいで再生計画には町長自らのアイデア、職員の熱意が伝わってこない。私なら水没林に「屋形船」を浮かべるが。

町長 コンサル会社に丸投げではなく、供にアイデアを出しあい進めている。全て町、全体を含めての計画である。

ふるさと納税以外の 歳入増の努力を

質問 町の財政マネー・ジメントの重点策は。
町長 自主財源の確保と財政基盤の強化が不可欠で国や県の政策にアンテナを高く情報収集に努め、積極的な財源確保を計りたい。

廃校舎の利活用計画は

総務文教常任委員会

各課からの主な報告

主な質問と答弁

◆廃校利用に向けて

統合により未利用となる学校を利用して、ローカルビジネス創出を目指す取組であり、現在、事業立ち上げに向けて、プロジェクト参加者が主体となりNPO法人「Mezami i i d e」が設立された。



閉校した添川小学校(白い建物)

◆春の交通安全運動立哨箇所一部変更

春の交通安全運動は4月6日(月)から4月15日(水)まで。今年度は学校合により立哨場所が変わる。

◆休日の部活動は地域

学校での休日の部活動は原則おこなわない。休日にも活動をおこなう場合は町が認定したクラブでおこなう。

(社会教育課)

◆脱炭素事業老人世帯空調導入補助金

町内の持家であること、家族全員が65歳以上であることなどの条件がある。

(住民課)

●林野火災注意報の周知方法

質問 屋嶋委員

林野火災注意報の発令時は、ラインや防災ラジオで住民に周知とのことだが、広報カーでの周知が有効ではないのか。

総務課長 広報カーでの周知は現時点では難

●林野火災注意報発令下での禁止事項

しいが、有効であると考えて今後実施に向けて検討していく。

質問 高橋(亨)委員

林野火災注意報が発令された場合の禁止事項に花火の使用禁止とあるが、クマ・サル用爆竹も禁止なのか。

総務課長 クマ・サル用爆竹も禁止である。

●脱炭素事業の進み具合

総合政策室長 国の物価高騰重点支援金を活用し町が直営で実施した事により食料品にも利用できるように多くの商店に協力いただいた。

質問 松山委員

畜産農家に家畜の糞尿搬入のアンケートを取っているようだが、その前にバイオガス発電施設の建設場所は決定しているのか。

生活環境室長 施設設置場所は決まっています。搬入される糞尿の量を予想するためにアンケート調査をした。

●生活支援商品券利用店舗が増加

質問 横山委員

全町民に生活支援として一人当たり1万3千円分の商品券が配られたが、今回その利用店舗が増えた内容は。



ラインと防災ラジオ

猟友会との連携で有効な熊対策を

産業厚生常任委員会

主な質問と答弁

各課からの主な報告



設置された箱わな

●熊の抜本的な対策は遠藤(純)委員 新年度の有害な熊への対策は農林振興課長 鳥獣保護管理法を守る方向から駆除に方向転換している。現在は「おいはい」「箱わな」「駆除」で対応しているが、新年度は加えて県の間支援組織と連携して対応していきたい。

●猟友会との情報交換は密に行っているのか 島貫委員 活動に危険を伴う猟友会との連携は充分か。

●農林整備室長 会長とは常に情報交換はしているが、全体とはなく現場で対応している。

●会の活動の負担軽減と費用の拡充は 農林整備室長 箱わな用のカメラ、タブレットを活用して見回りの負担を軽減したい。高騰する燃料費などは8

年度は予算化したい。

●中津川バイオマスについて 舟山委員 中津川バイオマスの事業の今後の見通しは。

●農林振興課長 指定管理の趣旨に沿って、森林資源を活用する方向で業者募集を行う予定でいる。

●農地の大区画化に対する町の支援は 菅野委員 国の農地大区画化支援強化を受けるとはどのような良いのか。

●農林振興課長 自治体や県土地改良事業団体連合会などで組織する

大区画化推進協議会が設置されたら、国等への申請の橋渡し役を担いたい。

●空き家について 屋嶋委員 所有者不明で危険空き家になった物件の解体を、利益に繋がる解体条件で町の業者に無償の解体を呼び掛けてはどうか。

●地域整備課長 今後、廃材の有効活用が出来るか等、町業者とより良い案を検討して行きたい。

●いいで黒べこ「冬の陣」について 高橋(亨)委員 用意したセツト数を大幅に上回るほど好評なので回数を増やしては。

●農林振興課長 若手畜産農家の販促活動によって県外からの注文が多かった。予算的に経費増は出来ないの回数増は難しい。

◆令和7年度飯豊町高温渇水対策事業の実績 補助率・1/2

(1)農業用水確保対策 (揚水ポンプ購入、燃料費等支援)

7件 補助金34万円

(2)園芸作物高温対策 (遮光資材、散水、灌水システム購入等支援)

4件 補助金37万円 (農林振興課)

◆中小企業物価対策補助金について

86事業者610万円

◆水没林(駐車料金化) ※駐車有料期間 4月18日～5月17日まで今年度も町民には無料券配布予定

(商工観光課)

◆令和4年8月豪雨による被災箇所への復旧状況について

公共土木災害復旧事業 39箇所完了済

年度未完了予定 34箇所 復旧率87・2%

繰越工事(船越線、並松山線、大平線、南高野線)

◆飯豊町物価高対応子育て応援手当支給事業

(地域整備課)

①対象児童 児童手当支給対象児童及び令和7年10月1日～令和8年3月31日までに出生した児童

②支給児童数773人

③支給額 こども1人あたり2万円

④支給方法 児童手当支給口座へ振り込み

⑤支給率(3/6現在) 98・7%763人に支給

支給額1千526万円 (健康福祉課)

「町民との意見交換会」3団体と開催

これまでは皆様から申し込みをいただき開催しておりましたが、この度は議会側から出向いて意見交換をさせていただきました

西置賜ふるさと森林組合

2/12

テーマ 森林を守る仕事の現状と課題



■組織状況 長井市、白鷹町、飯豊町で組織し、組合員は約2千名、総代は2百人。
■災害後、林業の仕事をする上で、林道の災害復旧が遅れており、入れない山もある。
■依然として木材は安く、経営は厳しい状態が続いている。
■森林で働く人材確保に力をいれていきたい。
■町は林業専門職員を採用してもらいたい。

その他に新規採用職員、高校インターンシップ受入、ペレット製造工場、木材の販売方法等についてお話をいただいた。

聞き取り

高橋 亨一議員
遠藤 芳昭議員
遠藤 純雄議員

猟友会飯豊分会

2/9

テーマ 鳥獣被害対策と今後の課題



■箱わなの数が不足している（現状4個）
■見回り（3カ月で3km）の燃料代支援を
■檻の監視カメラが不足している。箱わなの数（4個）に対し2個不足。
■町回答 受信用タブレット貸出しも検討。

■射撃場までの町道整備を（路面砂利流出）

町回答 巡回確認は

随時実施し、春に再度確認する。

聞き取り

舟山 政男議員
島賞 寿雄議員
高橋 勝議員

JAおきたま青年部

3/2

テーマ 盟友（会員）の確保が課題



■都内の小学校で米づくり教室を実施しているがコロナ前のように子供たちにも飯豊で農業体験してもらいたい。
■高円寺のアンテナショップ活用強化で飯豊の情報発信をしていきたい。
■町内産液肥、堆肥は生産費を下げる効果もあるが利用をアピールし、付加価値をつけブランド化につなげる模索が必要である。
■盟友の減少が最大の課題。議会報を活用して募集を周知してもらいたい。

議員からの感想

青年部の活動として組織活動、意見発表会でも県東北、全国大会に於いて確かな実績を残されていることに感じました。

聞き取り

菅野富士雄議員
松山 和好議員
横山 清彦議員

クマ等被害を防ぐため 国・県の対策を聞く

自主
議会
研修
会

生ゴミがエサとならない配慮を

議会活動の一環として毎年自主研修会を開催しており、本年は、昨年クマの大量出沒で多くの被害が報告されたため「鳥獣被害対策」をテーマに1月9日、町民総合センターあーすにて開催され、多くの町民の方にも参加いただいた。

研修会では東北農政局の菊池克美氏、県置賜総合支庁小林佳苗氏より国・県の取り組みについて説明を受けた。クマ、イノシシ、サル、シカなどの被害は「里山・耕作地の管理不全」と「果実や生ごみ」を餌と認識しているため

だという。対策として「ネットや電気柵等」があるが、まずは農作物、果実、家庭の生ゴミがエサとならないよう注意すること。耕作放棄地やヤブなど、クマの隠れ場所を作らないことが重要との説明があった。



鳥獣被害対策について
説明する菊池氏

喜多方市議会と継続的な交流へ 米坂線復旧をJR只見線に学ぶ

営
運
会
員
議
会
委
員
研
修

2月2日～3日にかけて、喜多方市議会及び福島県只見線管理事務所に訪問し議会交流や地域の足を守る運動について研修した

喜多方市議会

隣接自治体交流を

喜多方市山都から本町中津川を結ぶ「林道飯豊檜枝岐線」を通じて両市町の交流を促進する必要がありととして2月2日(月)喜多方市議会を訪問した。

喜多方市議会連営委員との協議の結果、道路、産業、観光をテーマに今後、両市町議会の担当常任委員会で協議や交流を行うことを確認した。融雪後に道路の現地調査等も行われる予定。

只見線管理事務所

只見線復活を学ぶ

令和4年8月豪雨災害により米坂線が不通となった。その後「米坂線復旧をすすめる飯豊の会」を組織し、復旧の活動を行ってきたが、未だに

その兆しが見えない状況が続いている。このため、平成23年に豪雨災害により不通となり、令和4年10月に全線復旧したJR只見線のこれまでの取り組みをお聞き



福島県只見線管理事務所にて
説明を聞く

大江町議会来庁 議会運営の調査に

3月19日、議会運営についての意見交換のため、大江町議会運営委員会の議員等7名が飯豊町議会を訪問された。町民との意見交換の手法や一般質問のあり方について、両議会の状況や課題を話し合いが行われた。



大江町議会運営委員会の
皆さんと



議会の政策提言に対し 令和7年度 町の取組結果を回答

議会では、毎年12月定例会において、次年度の町政運営に反映すべきとして、町に対し政策提言をしています。令和6年12月議会において提出した提言について、7年度事業への反映や実績も含めて、町からの回答を報告します。相対的に提言に対しては概ね順調に取り組んでいることが分かります。

提言内容と町からの回答

提言1 教育環境の整備

手ノ子学校・添川小学校の複式学級を早期に解消すること。

回答 義務教育学校開校に向け、極小規模校・複式学級解消のため段階的・緊急的な対応として、令和8年度から第二小学校・手ノ子小学校・添川小学校を統合する。

提言2 JR米坂線の早期復旧

1 早急に復旧を図るよう国・県・JR東日本などに対し、やかに強く要請すること。

回答 米坂線復旧検討会議等で運営方式等の検討を重ねている。また国交省に対し全線復旧に対する財政支援や鉄道ネットワーク維持の要望をしている。

2 米坂線不通によって観光関係に大きな影響を与えているため、必要な支援を行なうこと。

回答 宿泊業やインバウンドへの影響もある。様々なイベントを通じて観光や地域活性化に努める。

提言3 災害の早期復旧と抜本的対策

1 国や県に対し、早期工事完了を働きかけること。

回答 土木施設、農地、農業用施設、林道等の災害も工事負担金を手当てにより、工事は順調に進んでいる。

2 砂防ダムの設置や既存ダムの浚渫などを関係機関に働きかけること。

回答 砂防えん堤しゅんせつ事業、測量設計、新たな砂防事業等に着手している。

3 山林の荒廃が進んでおり、山林保全に対し必要な措置を行なうこと。

回答 松くい虫被害木伐倒はじめ、森林の間伐や下刈り土砂災害の防止、水源涵養機能の向上を図る。

提言4 商工業支援

1 原油価格高騰 事業者と商業関係者への支援を。

回答 物価高騰支援、プレミアム商品券、物価高騰対策商品券配布等に取り組んでいる。

2 商工団体のイベントや事業に対する支援を。

回答 商店経営支援事業補助、ほほえみカー等支援、スーパーストア閉店後サービスの検討。

3 商工会運営に対する支援。

回答 令和7年度商工会運営補助金を増額した。



町内唯一のスーパーが閉店し生活が不便に

町民からのメッセージ「私からひと言」

“大変だが熊から町民の命を守りたい”

第8回

猟友会 ^い ^{とう} ^{やす} ^お ^{たか} ^{はし} ^{たか} ^{よし} ^{すず} ^き ^{こう} ^{いち}
伊藤安雄さん 高橋孝義さん 鈴木講一さん



左から、鈴木さん、伊藤さん、高橋さん

議会だよりでは町民の皆様の活躍を紹介している。今回は西おきたま猟友会飯豊分会の会長伊藤安雄さん（中）副会長高橋孝義さん（秋生）事務局長鈴木講一さん（椿）の3人に熊の駆除を中心に話を聞きました。

現在 猟友会の会員は何名ですか

伊藤さん 会員は23人で猟銃免許は19人、罠を使う人は4人、日曜ハンターが多い。

現在の猟友会の課題は

伊藤さん 若い会員の不足です。役場の方にも免許を取っていただき、規則等をもっと理解していただいた上で、より協力体制を強化出来ればと思う。

猟友会に入会された動機は

高橋さん 小さい頃から叔父の狩猟の供をし、二十歳に成ったらと楽しみにしていた。今は趣味の世界から駆除に変わってしまった。

初めての緊急銃猟は如何でしたか

鈴木さん 緊急銃猟は難しいと感じた。警察（公安委員会）との連携も必須だし、見物人も集まり、その気配に熊が隠れたり、想定外の事が起こり対応に苦慮した。

一番多くの熊を駆除された町内の地区は

伊藤さん、高橋さん、鈴木さん 眺め山の牧場が一番多く、一番大きな熊は200kgもあった。牧場は牛の餌があり熊の好む環境だと思われ。畜産農家の皆さんには是非餌の管理を徹底していただきたいと思う。

猟友会としての今年の熊対策の取り組みは

伊藤さん、高橋さん、鈴木さん 令和7年度は37頭駆除したが、熊の個体数は減ってはいないと思う。秋の駆除は対処療法なので、春の予測駆除に力を入れたい。そのため、町には林道の整備、除雪をしつかりとお願したい。会長は昨年90〜100回出勤し、車で3000kmも走行した。本年も町民の生命を守るため会員一丸となって活動していきたい。

取材を終えて

昔、日常では珍しかった熊が、時を経て危険な存在になりました。熊ばかりが悪者ではなく、動物と人間が共存共栄出来なくなった現代社会を反省する事も大切ではと思った次第です。

編集後記

このたびの議会は重要な予算議会でした。厳しい財政状況での苦慮された予算編成だと思われましたが、暮らし満足度No.1のまちづくりを目指す上で、フォレストいいで再生は慎重にと否決し、修正案を可決しました。令和8年度の予算が可決となり、私たち議会は町民の皆様の暮らしの向上に努め皆様の声を町政に反映させ丁寧な説明をしていく所存です。（島貫寿雄記）

議会定例会の傍聴 お待ちしています

次回の定例会開催は **6月4日(木)** からの予定です。

インターネットからでも見るができます。
議会のホームページでご確認ください。

お問い合わせは議会事務局へ TEL 0238-87-0527

発行責任者
議長 屋嶋 雅一

発行
広報公聴常任委員会

委員長 遠藤 芳昭
副委員長 横山 清彦
委員 島貫 寿雄
松山 和好
遠藤 純雄
高橋 勝